

2025 年 方 針

2025 年 4 月 1 日

公益財団法人 JAPAN BOWLING

会長 丹羽秀樹

「JAPAN BOWLING」として、再始動から 1 年が経過しました。過去のイメージにとらわれることなく、時代に合わせて革新し挑戦した 1 年でした。その中で、これまで JBC を築いてきた仲間たちが、これからの JB に大きな期待を寄せてくれていることを、各事業の現場で実感することができました。

居慣れた場所が変わっていくことを前向きに受け入れ、ともに歩んでくれる仲間たちの存在に感謝し、勇気をもらって、更なる革新に取り組む所存です。

2025 年度も「BOWL for ALL!」をモットーに、すべての人にボウリングの魅力を提供するため、JB 会員・役職員の団結を深め、日本のボウリングファミリーと連携、協調しながら、ボウリング界の課題解決と発展を目指します。

2025 年度 重点目標

1. アスリートボウラーを頂点としたスポーツボウリングの育成強化
2. 多様化するボウラーの参加を促す事業の創出
3. ボウリングの楽しさ・魅力を伝える事業展開と環境整備

1. アスリートボウラーを頂点としたスポーツボウリングの育成強化

- (1) 全日本ナショナルチーム、ユースナショナルチームによる国際競技力向上
 - ・各年代区分に応じた選手強化の実施
 - ・国際公式大会への派遣とメダル獲得目標必達
 - ・海外トーナメント、ツアーへの挑戦促進
- (2) 次世代トップアスリートの発掘と育成強化
 - ・地域におけるジュニアジャパン認定会における有望選手発掘、育成
 - ・ジュニアジャパン選抜選手の強化育成によるアスリートへの意識改革
- (3) シニアトップアスリートの競技力強化
 - ・シニアジャパンの競技力向上と国際大会における活躍推進
- (4) ボウリング指導者資格とメソッドの全国的な浸透
 - ・日本スポーツ協会公認ボウリングコーチ資格の取得推進
 - ・JB・USBC コーチングマニュアルに基づく指導方法の普及と有資格者による知識・指導力向上

2. 多様化するボウラーの参加を促す事業の創出

- (1) ジュニア、学生のボウリング参加を促す事業拡充
 - ・都道府県における小学生指導会兼全日本小学生競技大会予選の実施
 - ・学校部活動の地域移行に向けた地域ジュニアクラブ制度の創設
 - ・大学選手権大会競技内容の拡充

(2)シニアボウラーの参加を促す事業拡充

- ・高齢化社会に対応したシニアボウラーの大会への参加促進

(3)成人スポーツとしてのボウリングの普及促進

- ・都道府県連盟支部クラブにおける積極的な会員増強と競技活動の推奨
- ・実業団チームの大会参加促進と会員増強支援

(4)パラスポーツとしてのボウリング普及促進

- ・東京 2025 デフリンピックの開催支援
- ・視覚障害者ボウリング競技普及への協力支援

(5)生涯スポーツとしてのボウリング活動の場を創出

- ・健康ボウリング教室開催への支援
- ・健康ボウラー日本大会の開催と地域ボウラーの交流促進

(6)ビギナーのボウリング参加を促す事業創出

- ・ボウリング教室キャラバン隊において地域愛好者にボウリングの魅力を伝達
- ・ボウリング入門書の活用によるビギナーボウラーへの指導育成

3. ボウリングの楽しさ・魅力を伝える事業展開と環境整備

(1)ボウリングの楽しさを演出する事業展開

- ・THE TEAM FESTIVAL の開催によるエンジョイボウリングの創出
- ・エンターテインメント性の高い選手の露出を図る
- ・公認競技場における地元ボウラーによるリーグ、競技会の充実

(2)ボウリングの魅力を伝える情報発信

- ・WEB サイトの充実、SNS を活用した映像・情報発信の展開と新たなコンテンツの充実
- ・ボウリング技術向上のための情報発信を展開

(3)ガバナンスコードに基づく法人組織運営者の発掘養成

- ・ボウリング界の内外における多様な人材発掘、登用
- ・理事会、専門委員会における意見交換の活発化と新提案の積極採用
- ・法人運營業務の IT 化、講習会や会議等のオンライン化推進と参加しやすい体制の構築

この方針の実施にあたり、内閣府、総務省、文部科学省、スポーツ庁をはじめとする各省庁、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、一般財団法人地域活性化センター、ボウリング業界、特別協力各社との連携を密にし、役員はもとより会員の皆さんと共に方針の達成に邁進します。